

---

# 恋あいLIMIT

東条 嶺

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋あいLIMIT

### 【Nコード】

N2190E

### 【作者名】

東条 嶺

### 【あらすじ】

6月最後の日の夜、好きな人から携帯に電話が掛かってきた・・・でもその内容は俺にとっては！？好きな人が転校してしまう、その前になんとか相手を振り向かせたい、だけどタイムリミットは3週間！！長いようで短い、そんな夏の物語。

## ブローグ

「私さあ・・・・・・・・・・」

「ん？」

「私・・・・・・・・・・」

「もったいぶつてないで早く言えつて」

「うん・・・・・・・・・・私・・・・・・・・・・」  
校するんだ」  
転

## ブログ（後書き）

初めての投稿です！！はじめてなのでおかしいところがあると思うのでその時は指摘してもらえるとたすかるかります。それとここはこうした方がいいっていう意見もあったりするとたすかります。ゆっくりでもいいから更新していこうと思ってるので見捨てないでくださいね、では今回はこのへんで。

第1話：7月1日（1）

ジリリリリリリリッ・・・・・・・・バシッ！！

「ふあ・・・・・・・・朝か・・・・・・・・」

昨日の電話から一夜明けって言うてもほとんど寝れなかったけど理由は簡単・・・・・・・・《アイツ》のせいだ

「えっ・・・・・・・・・・・・・・・・」

「うちって今、お父さん単身赴任してるでしょ？それで今度海外に転勤になるから家族で一緒に行くことになったんだ」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「光輝？聞いてる？」

「えっ？」

「はあ、やっぱり聞いてなかったんだ」

「い、いや聞いてたって」

「じゃあ今何の話してた？」

「由衣が転校するって話・・・・・・・・だろ」

「そうだよ、めずらしいね光輝が話きいてるなんて」

「ああ・・・・・・・・そうかもな」

「でも心配だなあ光輝を1人置いて行くの・・・・」

「なんで？」

「だっていつも人の話聞いてないじゃん光輝って、こつやつて電話で私と話してるときとかだけならまだいいんだけど先生の話とかも聞いてないからさ、ちょっと心配なんだよね、幼馴染として」

「・・・・・・・・大丈夫だよ。それでいつ行くの？」

「夏休みに入ってすぐだから21日ぐらいかな？」

「21日って言ったら・・・・・・・・」

「うん、ちょうど3週間後だね」

「えっ・・・・・・・・もう日付変わってたのか」

「そうだよ、もう7月なんだよ」

「じゃあもうそろそろ寝たほうがいいな」

「そうだね、じゃお休み光輝」

「ああ、お休み」

ツーツーツー

「3週間か、長いんだか短いんだか……ふあゝ」

やっぱり考え事があつたとしても眠いものは眠い

「まあ授業中寝ればいいんだけどさ」

そんなことを考えてたら

「駄目だよ授業は聞いてなきゃ！」

「うわっ！！なんだ結奈か」

「はいはい、ど〴〵せ私は由衣じゃないですよ」

「なんでそこでアイツが出てくんだよ」

「なんとなく？」

「疑問形でかえされても……ってかアイツの家こっちじゃないだろ」

「んゝそついえばそうだったね」

で、今俺が話をしている相手の名前は新藤結奈<sup>しんとうゆきな</sup>

こんな奴だけど、バスケット部のエースで学年1位の成績だったりする・

・・・ほんと何でこんなやつが？っていつも思ってたりする

「何かいま失礼なこと考えてなかった？」

「か、考えてないって」

「ふうん・・・まあいいけどね」

そんなこんなで話しているうちに学校前の坂についた

「毎日毎日この坂登るのマジめんどくせえ」

「学校が平地にあればこんな坂登んなくていいのにね」

この学校には4つの校門があつて、それぞれ1本ずつ坂がある。そして今俺たちが登っているのが南門の坂「南坂」、4つの坂のうち一番長い坂である。

「何で家こっちにあるんだろ・・・」

「そんなこと言ってもしょうがないでしょ、ほら早く行かないと遅刻するよ？」

「はいはい」



こうしていつものように南坂を登りはじめたのだった

ガガガガガ・・・・ピシャン!!  
俺たちの後ろで校門の閉まる音がした

「ふうゝ今日もギリギリだったな」  
「誰のせいよ・・・」

一応15分前ぐらいには教室に着くように家を出たはずだったんだ  
けどな・・・

遡ること十数分前・・・

「やばっ・・・」

「・・・まさか・・・また忘れ物？」

「・・・すいません、スパイク忘れました・・・」

「

「謝ってる場合じゃないでしょ!!ほら、戻るよ!!」

「はい」

「こんなことがあったわけ遅刻ギリギリになったわけだ」  
「何してんの?? 早く行くよ」

ふと気づくと隣にいたはずの結奈がいつのまにかいなくなっていて、  
遠くで俺を呼んでいるのが分かった

「あつわりい今行く!」

結奈の方へ行こうとした瞬間

「おっはよー光輝ー」

後ろのほうから声がした瞬間背中に……………

《バツツシイイイン!!》

「……………イッテエー!!!!!!」

「ハハハハハ、わりちよつと勢い付けすぎた?」

「あたりまえだろ……」

そして隣にいた男も

「いつものことじゃん、別にいまさら驚かなくても……そもそも警戒してなかった光輝が悪い!!」

「痛すぎて怒る気にもなれねえよ……」

こいつの名前は早坂景介<sup>はやさかけいすけ</sup>。ちょっとだけ……いや実はかなり変わっている奴で、去年同じクラスで仲の良かった奴の1人だ、そしてもう1人、おれのことを思いつきりぶつ叩いたのが渡邊大輔<sup>わたなへだいすけ</sup>。こいつも去年同じクラスでつるんでいたやつ<sup>わたし</sup>の1人だ、ちなみにこの2人、周囲からは《ゲーセンオタク》とまで言われるほどゲーセンに行っている、2人共部活やってんのにいつゲーセンなんて行ってるんだ……？それはさておき、実は去年4人か6人で行動していることが多かった、要するにあと2人いるわけで、そいつらは北門の方から来ている、すると……

「凄い音がしたから来てみたらやつぱりか……」

そう、こいつが柊圭司<sup>ひいらぎけいじ</sup>、趣味がギター（かなりウマイ）で、テニス部のエースだったりする……が、部活はよくサボるし、約束事はドタキャンすることがほとんどという結構いい加減な奴だったり、するいい奴ではあるんだけどね……ついでにこいつを含め4人とも遅刻の常習犯だったりする、そしてそれにいつも巻

き込まれるのが結奈と

「いつもいつもホント飽きないよね4人とも・・・」

この朝比奈由衣あさひなゆいである、すると圭司が

「4人・・・ってなんで俺も入ってんのさ!？」

「今日は圭司が携帯忘れたのを取りに帰ったから遅くなっただけでいつもは南門でまちぶせしてるじゃん」

「いつもってほどじゃないだろ」

「学校のある5日間で4日間はやっているのをいつもと言わなければね」

「・・・・・・・・」

この2人は変わらないな、って思うほど、小さい頃から同じようなやりとりをしている2人。俺と由衣と圭司と結奈は幼稚園の頃からずっと一緒にいわゆる幼なじみってやつだったりする・・・まあここまでくるとどっちかって言うところ腐れ縁のほうが正しい気もしてくるけど・・・そんなやりとりの中で由衣が思い出したように

「あっ!そういえばさっき言おうと思ってたんだけど・・・」

「なにを？」

なんとなく嫌な予感がしたので聞いてみると

「もう本鈴なり終わってるよ・・・って」

「早く言えよそれ！！！」

気づくと8時40分、あと少しで1時限目の始まる時間だった

「行くぞ！！さすがに1時限目にまで遅れるのはまずい」

そして全員で俺たちの教室である2 - Bに走った

これが俺達のいつもの登校風景である

## 第1話：7月1日（1）（後書き）

7月1日って書いてあるのにほとんど6月30日の話になっちゃいましたね……。まあいつか、プロローグ短すぎたしこの話はプロローグの続きだと思っててください。ってなわけで次からはちゃんと話を書いてこうと思ってます。感想・意見などお待ちしますね……。あ！言い忘れてたけどタイトルは「れんあいりみっ」とって読みます、まあ皆さん分かっているとは思うんですけど一応言っておいた方がいいかなあ〜と。ではまた次回

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2190e/>

---

恋あいLIMIT

2011年1月26日12時01分発行